

THE SUGGESTION
THE SUGGESTION

提 言

中小企業組合総合研究所機関紙

3月1日

第158号(2019年)

発行所

一般社団法人 中小企業組合総合研究所
〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ2F
電話 06-6328-5577 FAX 06-6328-5588
URL http://www.kumaisouken.com/

提言・約束事

1. 基本的には読者参加型の提言新聞とします。併せてニュース解説や話題を提供します。
2. 投稿の場合、社会規範に反するものは受け付けません。原稿掲載はスペース等の関係もあり編集者の判断にお任せ下さい。

近畿地区生コン関連団体労使懇談会

近畿地区的生コン関連団体は、2月18日、大阪市西区の「学働館・関生」で第38回目となる労使懇談会を行なった。この懇談会は近畿各地の労使が現状認識を共有するために隔月で開催している。

●各地区 現状の報告

会員のために出来ることを現在模索中である。

踏まえ、広域協組として寄付等の協力を検討して

●労働側報告

【全日本港湾労働組合 関西地方大阪支部】

検察、



会から大阪広域生コンクリート協同組合の報告会

【大阪兵庫生コン経営者会】2019年1月28日、経営者会の事務所を大阪市北区から淀川区新大阪に移転した。事務所

移転の大きな理由の一つは、関西生コン関連業界における経営者会の「中立性」の維持という面である。

労働組合として出来ることが、先頭を切つてやつてある。この業界をいち早く正当で、まつとうな者が日々の目をみるという状態に持っていくために、我々

が日本の仲間が視察を含めて行ったが排除された。その理由といふり、自分たちが支配しているように錯覚をして、

今、沖縄は散々たる状況だ。違法な形で基地工事が進んでいる。「危険な普天間飛行場を無くす」ということだったのだが、

それならまずは危険を先に除去してから、その上で代替地をどうするかと

いといけない。業界の皆さんと団結を固めて、新たな体制をつくるように、我々も努力したいと思う。



今、沖縄は散々たる状況だ。違法な形で基地工事が進んでいる。「危険な普天間飛行場を無くす」ということだったのだが、

それならまずは危険を先に除去してから、その上で代替地をどうするかと



書籍『ストライキしたら逮捕されまくつたけどそれってどうなの? (労働組合なのに...)』好評発売中

レイシスト(差別主義者)を使って組合破壊をしかける協同組合。ストライキを「威力業務妨害」、職場のコンプライアンス違反の告発を「恐喝」、抗議を「強要」、組合活動を「組織犯罪」、労働組合を「組合を明らかにする!」

組織犯罪集団」と言い換えで不当逮捕する警察。いま、まつとうな労働運動に加えられている資本による攻撃と「共謀罪のリハーサル」ともいえる國家権力による弾圧の本質

問い合わせは、連帯ユニオン関西生コン支部(電話06-6583-5546)まで。一般書店でも購入可。価格1,200円(税別)。

◆【内容紹介】

◆【輸送ゼネスト】より

2017年12月12日、連帯ユニオン関生支部と全港湾大阪支部は、近畿地方一円で無期限ストライキにふみ切った。これがことのおこりだ。

このストライキ、組合側が要求したのは2点。第一にセメント輸送や生コン輸送の運賃を約束どおり

引き上げること、第2に不正逮捕する警察を止めることで、労働組合を守るために行動する。資本による攻撃と「共謀罪のリハーサル」ともいえる国家権力による弾圧の本質

問いただすと、「連帯ユニオン関西生コン支部(電話06-6583-5546)まで。一般書店でも購入可。価格1,200円(税別)。

◆【弾圧の狙い】より

2017年12月12日、連帯ユニオン関生支部と全港湾大阪支部は、近畿地方一円で無期限ストライキにふみ切った。これがことのおこりだ。

第10期沖縄意見広告運動スタート集会 あきらめない、声を上げ続けよう

ですね。

また、自民党の議員が
来た時に、沖縄のお婆さ
んが「あんた帰りなさ」と
と言つて小競り合いになり、

沖縄意見広告運動・関西事務所は1月18日、エル・おおさか(大阪市中央区)で「第10期沖縄意見広告運動スタート集会」を開催した。講演のゲストには沖縄平和運動センター議長の山城博治さんが来阪。山城さんは現地の状況や国政動向を熱く語った。当日の参加者は150名。

沖縄意見広告運動は沖縄での基地反対運動の先頭に立ってきた安次富浩さん(ヘリ基地反対協議会共同代表)や元参議院議員の山内徳信さんら7人が発起人となり、2010年に運動を開始。市民から寄せられた基金をもとに、「沖縄タイムス」と「琉球新報」の沖縄2紙と、全国紙に全面広告掲載を毎年行なつていい。

沖縄平和運動センターアイドー議長 全国キヤラバン隊隊長 山城博治さん講演



12月14日に始まつた埋め立て申請内容と違う
め立てで、海が真赤に染まつています。工事は「岩ズリ」で埋めるという話
だつたのですが、実際には「赤土」で埋められていま
す。岩ズリは石灰岩です
から海に入れれば白く濁るはずです。真っ赤に濁るのはそれが岩ズリではな
く、赤土だからです。「埋
るがそれを「恐喝罪」。ス
する弾圧でも、労使交渉
の席で言葉が荒くなるこ
ともあるでしようし、テー
ブルも叩くでしょう。どこ
実は私は3回捕まりま
した。辺野古ゲート前で
阻止行動をしていた時に、
米兵に少し触れたら「暴
力を受けた」と米兵から
訴えられました。高江では、
「山城に傷つけられた」と
防衛局職員から訴えられました。警察で見せられました。警察で見せられれた映像では、私は一歩も動いておらず、寄つてきた防衛局職員が足を滑らせて私に覆いかぶさり、私はそれを払つただけでした。その時は起訴猶予になつたのですが、それでも相手は「分かった」なんて言つたのです。でも呼ばなかつた。呼べなかつたの

民意はすでに
出でている

トライキをすれば「威力業務妨害」。こんな屁理屈が当然のように罷り通うので、私たちが守らうとする辺野古の大浦

り巻く環境というのはこんなものだと思います。だから今、関生支部に罪があるようにレッテル貼りをしているのも同じです。動き出す。今の我々を取り立てるには、世界有数のサンゴ群があるんです。その海を壊すダンプが赤土を満載してどんどん入っていく。それに抗議をしようとすると機動隊が力を排除をする。これで悪夢を見ているのか?何なんだと思つてしまします。

でもこれが現実なんです。

心が折れそうにもなるし、悲しみと怒りで泣けてきま

ります。でも泣くわけにはいきません。

声を上げ続けよう

今は、県民投票をリードしてくれた元山仁士郎さんがハンガーストライキに入っています(注:その後、19日に断念)。私は今回

知事が「NO」と言えば終わりです。

今回のキヤラバンは「沖

縄の歴史と闘いの現状を学ぶ」ことを目的に、辺野古高江での行動参加だけではなく、普天間基地(嘉数公園より)やひめゆりの塔、平和記念公園(対馬丸記念館)の視察・見学など、盛りだくさんの内容となりました。

このキヤラバン隊には初参加となる2名の若者がいました。一人とも、この取り組みで様々なことを感じ取つてくれた

が怖い」と言い続け、宮古でミサイル基地を造り、八重山でミサイル弾薬庫を作り、与那国で自衛隊のレーダー基地を造り、沖縄本島の辺野古、そして徳之島と、南北諸島を要塞化しようとしている。

安倍さんは「サンゴは移植された」と言いまし

たが、どこにサンゴが移植されたのですか。あの雄

大なサンゴをどうやって、

どこに移すのか。あそこ

だから生きているのであつ

て、あれを移してどこかで

生きるのだった元々で

生きるのだった元々

視点 憲法を知ろう

憲法第12条

〔自由及び権利の保持義務と公共福祉性〕

この憲法が国民に保障する自由及び権利は、國民の不斷の努力によって、これを保持しなければならない。又、國民は、これを濫用してはならないのであって、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ。

日本国憲法は、國民全員が自由で公正な社会を築き、支えることを目指しています。日本国憲法は権力者の権力を縛るものとされている中で、第12条は「憲法が保障する自由と権力を守るために不懈の努力」を國民に要請しています。12条は運動理念にも等しい重要な意味を持つて

関わる人々にとっては、第12条は運動理念にも等しい重要な意味を持つて

「不断の努力」を國民に要請している特異な条文です。

民主主義社会において、

國民一人ひとりの、主権者としての自由や権利はとても大事なことです。

とりわけ社会運動に

が保障するための不断の努力

（日頃からの絶え間ない

）

が保障するための不断の努力

